



2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社 ビケンテクノ
(証券コード：9791／東証スタンダード)



BIKENTECHNO
with advanced technologies

目次

3

当社およびグループ会社の概要

4

2026年3月期第3四半期 連結決算の概要

5

1株当たり年間配当の推移

6

2026年3月期第3四半期 連結決算 セグメント業績の概要

18

今後の課題

19

当社グループの成長戦略

25

当社グループのサステナビリティ戦略

経営理念

「お客様第一主義に徹する」

代表者挨拶

代表取締役社長 梶山 龍誠

私たちビケンテクノは1963年の創業以来、お客様第一主義の実践を理念に、ビルメンテナンス事業を中心として成長してまいりました。

お客様のお困りごとを解決するため挑戦を続けて幅広い分野へ事業を拡大してきております。

今、社会は地球環境問題や労働力不足といった大きな課題に直面しています。私たちは「先端技術のビケンテクノ」をスローガンとして掲げ、省エネ・DX・ロボット活用など独自の強みを活かし、持続可能な社会に貢献してまいります。

これからも創業以来の理念を大切に、安全・安心と快適を支える企業として挑戦を続けてまいります。

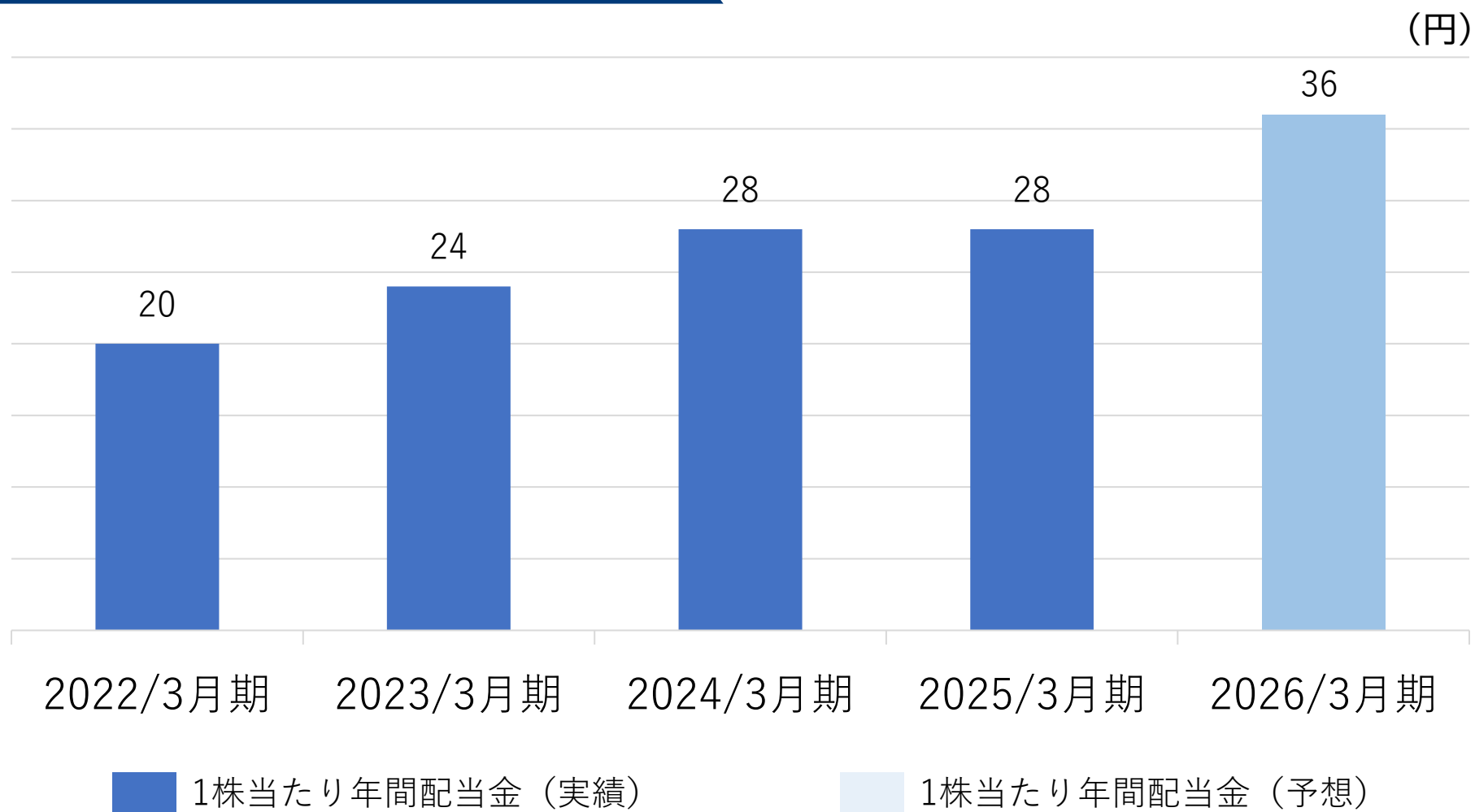
2026年3月期 第3四半期 連結決算業績

(百万円)

	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	増減額
売上高	25,480	26,747	+1,267
営業利益	1,003	1,517	+513
経常利益	1,168	1,631	+463
親会社株主に帰属する 四半期純利益	780	1,096	+316

記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

1株当たり年間配当の推移



ビルメンテナンス 事業

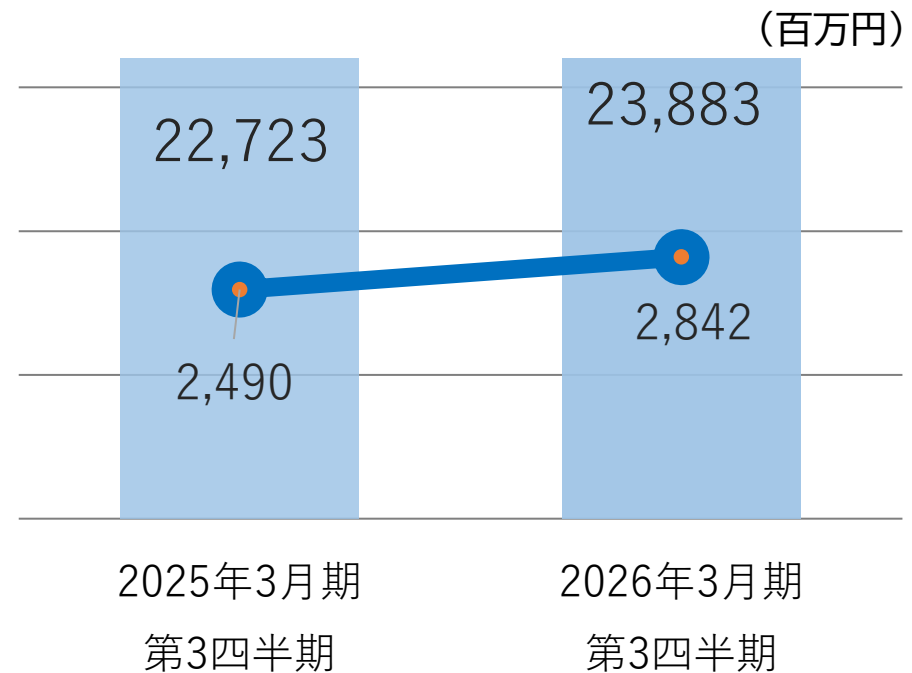


ビルメンテナンス 事業

大型再開発案件を含む新たな商業施設や物流施設のメンテナンス業務等の受注増加や、経済活動活性化に伴う工事受注、大阪・関西万博を契機とした業務拡大などによる堅調な業績の進展が見られ、前年同期比で売上高・営業利益が増加しました。

売 上	23,883 百万円
利 益	2,842 百万円

記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。



不動産事業

不動産 売買

不動産 売買仲介

不動産 賃貸

信託受益権 売買

信託受益権 売買仲介

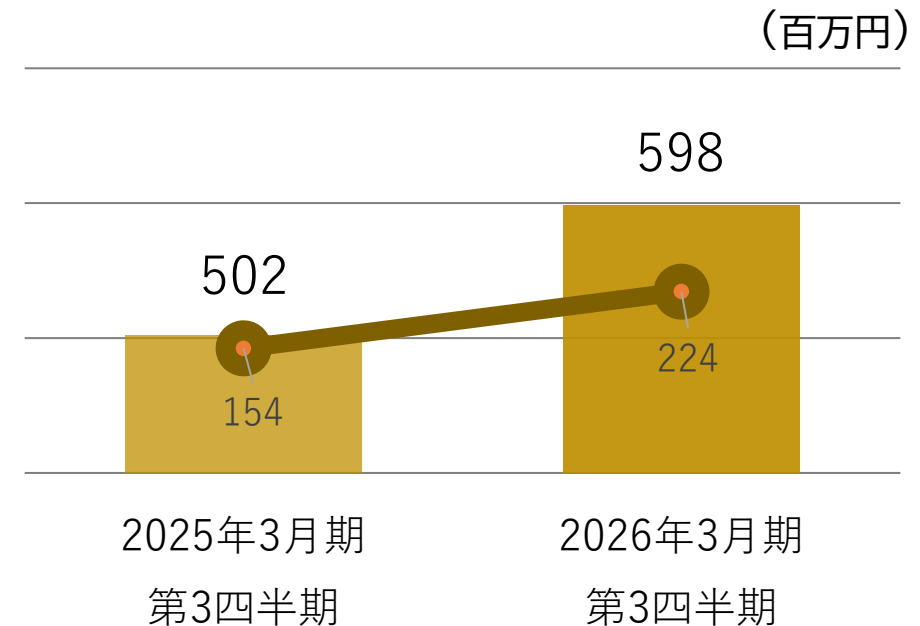
不動産リノベーション等

不動産事業

第3四半期中では大口棚卸不動産の売却はありませんでしたが、取得物件の賃料見直し、入居者増などによる賃貸収入の増加により、前年同期比で売上高・営業利益が増加しました。

売上	598百万円
利益	224百万円

記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。



介護事業

介護付有料老人ホーム メルシー緑が丘

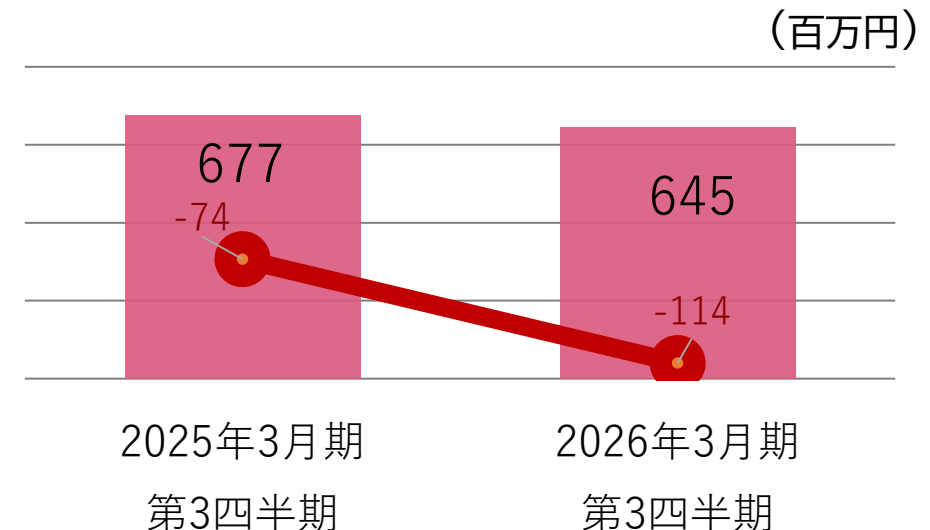


介護事業

介護施設の運営や介護サービスの提供を行っており、入居者様・ご家族様の立場に立った高いレベルのサービスを提供しています。各施設とも、引き続き感染予防対策に重点を置きながらの営業活動となっていることなどで稼働率回復に時間を要し、また介護人材確保のための費用も増加したことにより、前年同期比で売上高が減少し、営業損失も増加しました。

売上	645 百万円
利益	-114 百万円

記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。



フランチャイズ 事業

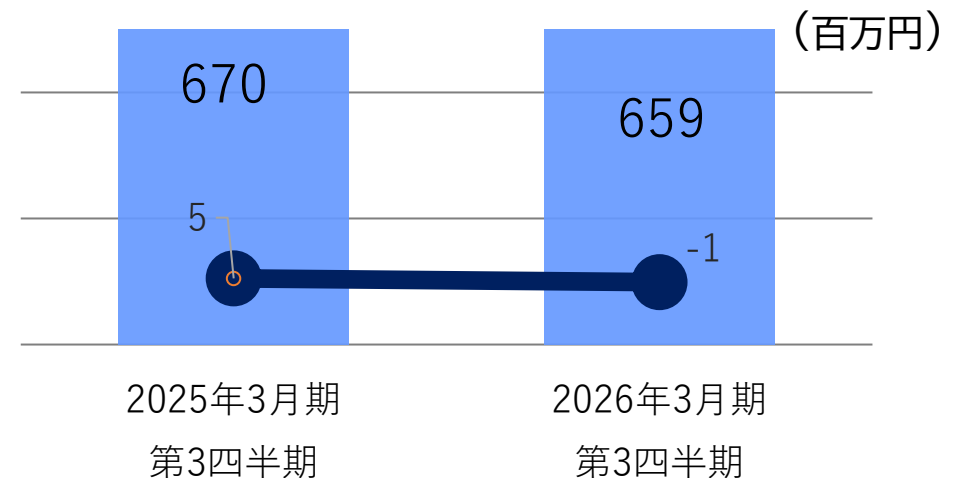


フランチャイズ 事業

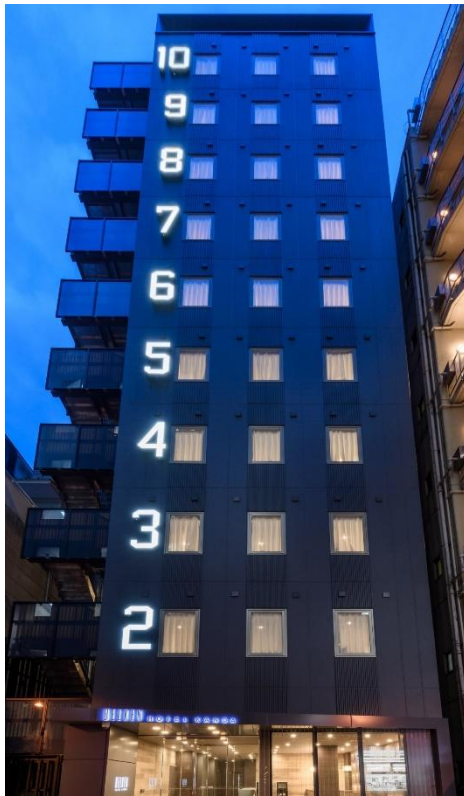
店舗ブランドとして、サルヴァトーレ・クオモ、やきとり家すみれ、プロント、ミスタードーナツ、銀座に志かわ等の店舗展開を行なっていましたが、各店舗の収支状況等を勘案しスクラップ&ビルドを進めています。具体的には、銀座に志かわ堺東店を2024年10月に、やきとり家すみれ五反田店を2025年2月に、やきとり家すみれ福島店を2025年10月に、それぞれ閉店しました。やきとり家すみれ五反田店の跡には、自社ブランドとして新店舗の串揚げや みつ八を2025年3月より営業しております。そのような店舗減少や閉店費用負担の影響もあり、前年同期比で売上高が減少、営業収支は赤字となりました。

売 上	659 百万円
利 益	-1 百万円

記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。



ホテル事業

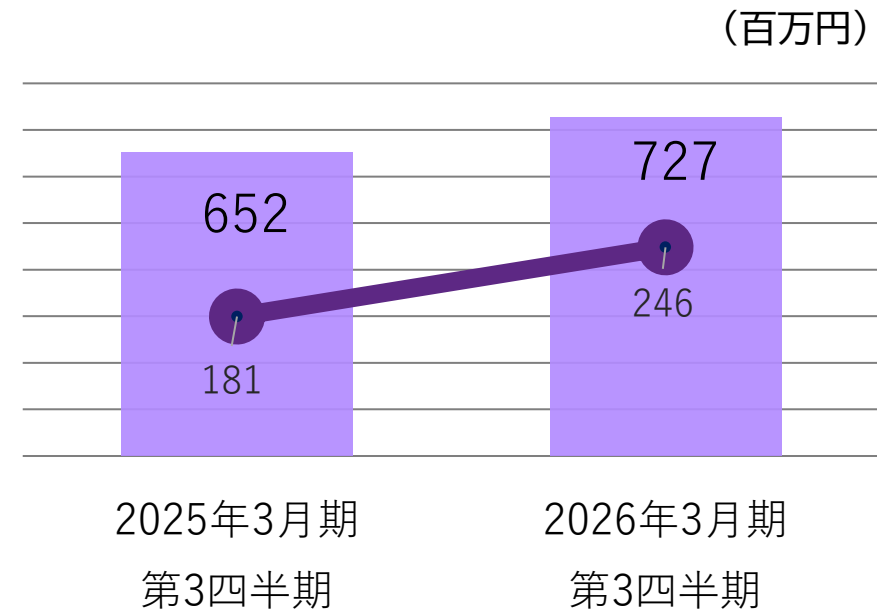


ホテル事業

現在、東京と沖縄で2棟のホテルを運営しています。
アフターコロナが浸透して人々の移動やインバウンド需要が活性化してきたこともあり、稼働率・ADRがアップし、前年同期比で売上高・営業利益が増加しました。

売上	727 百万円
利益	246 百万円

記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。



その他事業



・・・瞬間除菌消臭・・・

PROTOCOL CLEAN

AQUA

プロトクリン・アクア

PROTOCOL CLEAN WATER

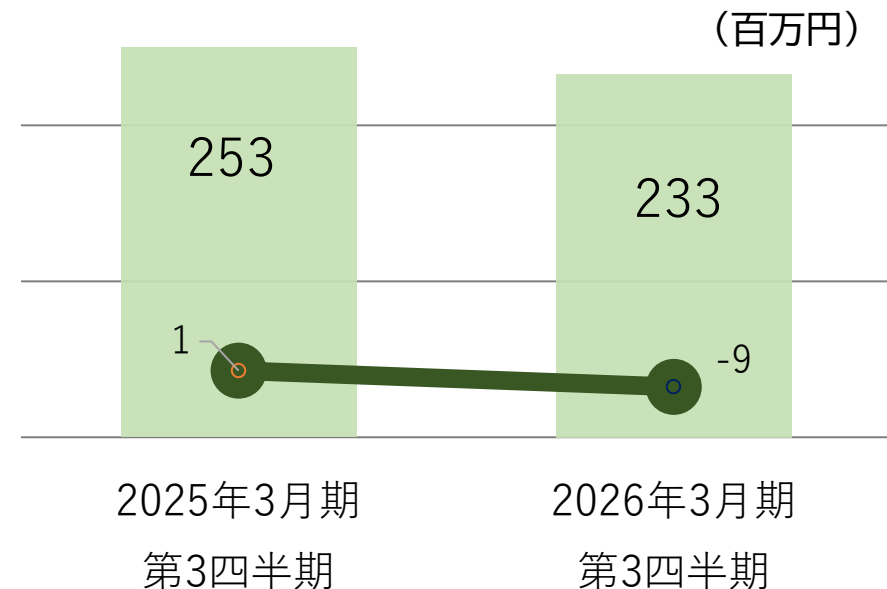


その他事業

その他事業ではフードコート運営事業、太陽光発電事業、関連商品販売事業などがありました。フードコート運営事業は2025年8月末をもって撤退しました。撤退前のフードコート事業の不振により、前年同期比で売上高は減少し、営業損失計上となりました。

売上	233 百万円
利益	-9 百万円

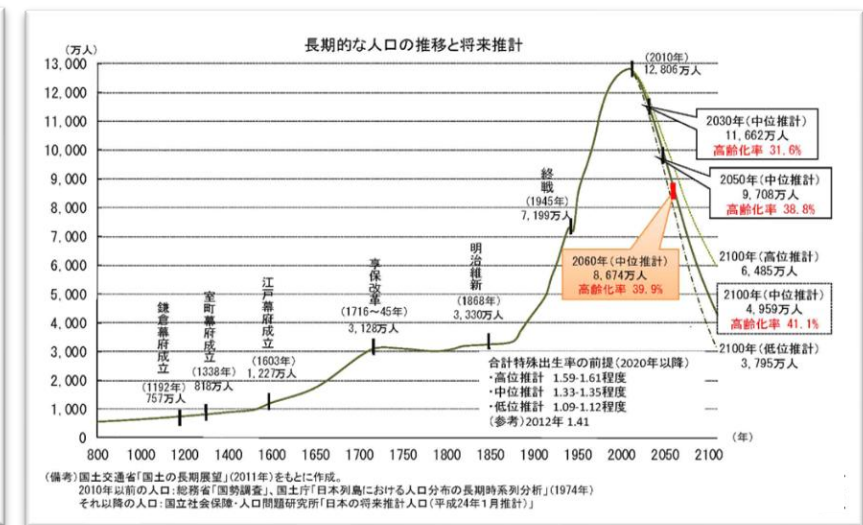
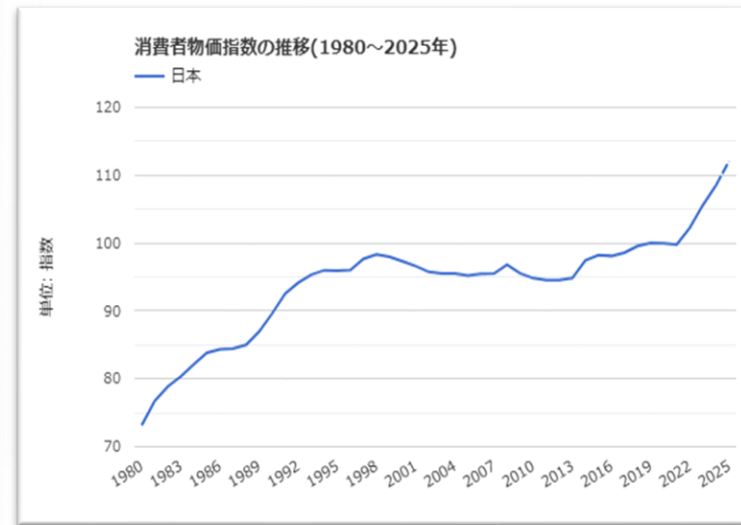
記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。



経営環境における不安定要素の拡大

商業施設などの不動産の保有形態の多様化、公共施設などにおける指定管理事業化の増加、再開発事業の活性化、リノベーション事業ニーズの増加など、ビルメンテナンス業界をめぐる環境は大きく変化しています。

人材確保難、人件費高騰などの問題もますます顕著化しています。



ビルメンテナンス事業の成長戦略（環境変化への対応）



- 当業界を巡る環境は大きく変化しており、環境の変化やお客様ニーズに即応した営業強化を図ります。
- 具体的には、首都圏や関西圏をはじめとする大型開発プロジェクトや、地方再生リノベーション案件などに対して、初期段階からの各種提案などに積極的に取り組みます。
- 業務推進にあたっては、お客様所有不動産の物件価値向上に向けて、徹底した衛生管理、省エネなどのエコチューニング提案、業務のロボット化などの品質重視の各種メンテナンス提案を更に推進します。
- 業務管理においては、工数管理の徹底、人材確保の多様化、人材育成の強化、業務管理のDX化などを更に推進します。

ビルメンテナンス事業の成長戦略（当社の強みの発揮）



ESR横浜幸浦DC2

- 当社の強みであり従前より注力しているPPP事業案件、物流倉庫・データセンター等のメンテナンス業務、冷凍食品などの製造ラインの安全・衛生管理を担うサニテーション業務などを更に拡充します。



- 「いのち輝く未来社会のデザイン」をコンセプトに開催された大阪・関西万博でのメンテナンス業務において導入した最先端の業務スキルを今後、他現場でも提案・活用し、業容拡大を図ります。

ビルメンテナンス事業 以外の成長戦略

- 当社はビルメンテナンス事業以外に、不動産事業、介護事業、FC事業、ホテル事業、その他事業を展開しています。
- それぞれの事業は、中核事業であるビルメンテナンス事業とのシナジーを第一義として展開しており、多くの相乗効果が生まれています。
- しかしながら、それぞれの事業は経済環境に影響される部分も多いことから、状況に応じてスクラップ&ビルドを考えながら展開していきます。
- お客様には不動産に関わるファシリティマネジメントを展開する総合ビルメンテナンス会社として評価いただけるよう、日々尽力します。
- 保有している不動産についても、所在している地域の再開発の動向などの情報を把握しながら、より効果的な活用などの検討を進めます。

事業の再構築への取り組み

ビルメンテナンス事業以外の事業について、下記の再構築に取り組んでいます。

- ① 採算面で厳しい状況が続いていたフードコートの自社運営事業について、2025年8月末に撤退しました。
- ② FC店舗の内、苦戦していた1店舗(やきとり家すみれ福島店)を2025年10月末に閉店しました。
- ③ 苦戦していた介護事業を見直し、1施設について外部への事業譲渡(2026年3月1日付)を決定しました。(2025年12月18日リリース)。
- ④ ベトナムでの事業は、2025年12月下旬に譲渡契約を締結し、ベトナムでの活動は従来から出資している現地企業との関係強化に特化しました。
- ⑤ 再開発が進む横浜みなとみらい地区に、将来を見越してオフィスを賃借しました。
- ⑥ 外国人雇用が増える中、人事部の中の国際課を充実させるとともに、外国人従業員が安心して居住できる環境づくりのため、宿舍としても活用できる物件を追加取得しました。

グループ会社の成長戦略

当社にはM&Aでグループ化した会社を含め多くの連結子会社があり、それぞれ連携してお客様の多様なニーズにお応えし、グループ全体で成長してまいります。

【主な連結子会社】

(株)ベスト・プロパティ	創和工業(株)	(株)マイムコミュニティー	小倉興産(株)	SINGAPORE BIKEN PTE.LTD.
東京都港区	東京都世田谷区	東京都港区	福岡県北九州市	シンガポール
プロパティマネジメント /テナント仲介/ 売買仲介他	建物調査・診断/ 外装・防水改修工事 /大規模改修工事他	社宅管理代行/ 管理組合サポート業務 /不動産売買仲介他	リーシング 業務/ フロント業務/アカウント業務 /コンストラクト業務他	ビルメンテナンス/ エアコンメンテナンス他
				

グループ会社のトピックス

グループ各社の今期のトピックスは下記のとおりです。

なお、(株)ベスト・プロパティと(株)マイムコミュニティーは今期それぞれ本社を移転し、活動しています。

■株式会社 ベスト・プロパティ

中長期的に物件を保有するJ-REIT物件のプロパティマネジメント業務の受託に注力し、J-REIT物件の受託物件数は全国3位、都心5区では1位となりました。

■創和工業 株式会社

天井板関連工事において、室内側の足場工事を不要とする「ラムダ工法」を得意とし、営業基盤の強化に取り組んでいます。

■株式会社 マイムコミュニティー

従来からの社宅管理代行業務・管理組合サポート業務・不動産売買仲介業務に加え、区分保有物件の管理業務にも拡大展開しています。

■株式会社 小倉興産

福岡県小倉地区の大型商業ビルの証券化にあたり、2025年11月に有限責任組合員としてLP出資に参画し、地域に根差したメンテナンス会社としての展開を図っています。

サステナビリティへの取り組み

私たちビケンテクノは、持続可能な社会に向けた責任ある経営を実践してまいります。省エネや廃棄物削減といった業務改善はもちろん、自社開発の環境配慮型商品や、グリーン調達の推進、外国人雇用・人材育成など、多角的にSDGsの達成に貢献していきます。

ビケンテクノが思い描く未来

ビルメンテナンス事業を通じて、省エネ対応と環境負荷の低減を迫及し、持続可能な社会の構築に貢献します。



特定した重要課題と関連するSDGs

安心・安全

衛生的・健康的な建物空間の提供



環境

持続可能な資材調達の推進・環境配慮製品サービスの推進・エコチューニングの推進
再生可能エネルギーの活用



ガバナンス 企業価値

コンプライアンス・企業ガバナンス順守
DX・ITを活用した業務改革



人と社会の価値

人権尊重、差別の排除
雇用の多様化・障がい者雇用、高齢者雇用、外国人雇用
ワークライフバランスの整備



社会貢献

地域の人々の暮らしの質の向上
PPP事業による公共建物の維持、管理業務
医療・介護・保育事業による社会貢献
奨学財団の運営
地域貢献活動への参加



サステナビリティへの取り組み(トピックス紹介)

■ DX・ITを活用した業務改革

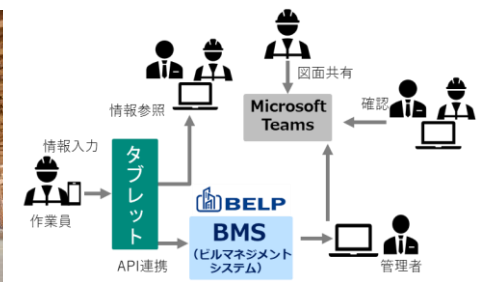
□ DX関連システムの導入

- 本社機能において従前取り組みが遅れていたシステム関係への取り組みを今期、大幅に強化しました。業務の効率化及び企業ガバナンス強化を主な目的に各種システムの導入を進めています。
- 現在導入または導入対応中の主なシステムとしては、「グループウェア」「契約書管理システム」「電子契約システム」などがあります。
- システム導入は今後も積極的に進めていきます。



□ ビルメンテナンス業務でのIT・DX等の活用

- 大阪・関西万博では未来社会の実験場とのコンセプトのもと、様々な先進的センシング技術等を活用したメンテナンス業務に取り組みました。
- 今後は、この経験をもとに、より効率的で安全な作業の実施が出来るよう他の現場での活用を進めていきます。



サステナビリティへの取り組み(トピックス紹介)

■ 人と社会の価値向上・社会への貢献

□ 障がい者雇用の充実

- 各地の障がい者支援施設等と連携して、障がい者の受け入れ推進や障がい者の働く場所の創成計画など様々な支援策を実施しています。

□ アビリンピック(障害者技能競技大会)の運営支援及び参加

- 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構が開催する障がい者向けの競技大会「アビリンピック」への参加やその運営サポートを10年以上前から実施しています。

2025年度 当社社員 東京大会銀賞
(2年連続)を経て全国大会参加



大会の様子



社内での練習風景